

JFAによる編集上の主な修正点

***これらの修正および表現の変更は、条文の理解、解釈を変更するものではなく、また審判員としての事象の見極めや、その基準に影響を及ぼすものではありません。**

2021/22ページ	2021/22 競技規則 (修正前)	2022/23ページ	2022/23競技規則 (修正後)	修正理由
24, 25, 33, 49, 57, 60, 87, 90, 94, 95, 96, 97, 100, 101, 102, 103, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 124, 127, 131, 137, 150, 175, 176, 199, 200, 202	犯した、犯された	24, 25, 33, 49, 57, 60, 87, 90, 94, 95, 96, 97, 100, 101, 102, 103, 104, 105, 106, 107, 108, 109, 124, 127, 131, 137, 150, 165, 166, 189, 190, 192	行う、行った	●英語版の「commit」を「犯した、犯された」と和訳していたが、「犯」は犯罪を想像させることから「行う、行った」に修正した。 ●P18 (2021/22) の「~間違いを犯す」の1ヶ所は、表現上の理由から修正せず。
23, 39, 77	プレー時間、プレーイングタイム (プレーのための時間)	23, 39, 77	プレーイングタイム	●英語版では「playing time」という表現が3か所あるが、和訳が統一されていなかったため表現を統一した。
35, 39, 81, 82, 114, 117, 123, 131	X.XXm (XXヤード) 以上	35, 39, 81, 82, 114, 117, 123, 131	少なくともX.XXm (XXヤード)	●英語版では「at least」であるため和訳を適切にするために修正した。
60	「懲戒処置」 1つ目●: …起きた時は、罰則、負傷のひどさ、…	60	1つ目●: …起きた時は、罰則、プレーの再開、負傷のひどさ、…	●英語版の「Restart」が和訳されていなかった。
60, 168, 169, 201, 210, 211	メディカルスタッフ、医療関係者、ドクター	60, 158, 159, 191, 200, 201	メディカルスタッフ	●英語版では「medical team、medical person、medical person(s)、medical personnel、medical staff」という様々な表現があり、和訳が統一されていなかったため、「メディカルスタッフ」に和訳を統一した。
93	「1. オフサイドポジション」 1つ目●: …ハーフ内にある (ハーフウェーラインを除く)。または、	93	1つ目●: …ハーフ内にある (ハーフウェーラインを除く)。そして	●英語版では「and」であるため和訳を修正した。
93	「2. オフサイドの反則」 2つ目●の2つ目・ボールに向かうことで相手競技者に挑む。または、	93	2つ目●の2つ目・ボールに向かう相手競技者にチャレンジする。または、	●英語版では「challenging an opponent for the ball」という表現が、P93に加えて、P94に2箇所、P206に1箇所あるが和訳においては統一されていなかった。より適切な表現を再考した上でP94とP206の和訳に合わせた。 ●「挑む⇒チャレンジ」は次の項目で説明
93, 94, 97, 101, 102, 106, 115, 127, 140, 169, 174, 175, 176	挑む、チャレンジ、妨害、(表現なし)	93, 94, 97, 101, 102, 106, 115, 127, 140, 159, 164, 165, 166	チャレンジ	●英語版では「Challenges, Challenge, Challenged, Challenging」という表現があるが、和訳において整理が十分ではなく、また和訳自体が難しい部分もあった。 ●2021/22競技規則の中でも使用され、またより身近で使用されている「チャレンジ」という表現に統一した。
97	「1. 直接フリーキック」 1つ目●: 不用意とは、競技者が相手に挑むとき注意や配慮が欠けていると判断される、または慎重さを欠いてプレーを行うことであり、懲戒の罰則は必要ない。 2つ目●: 無謀とは、相手競技者が危険にさらされていることを無視して、または結果的に危険となるプレーを行うことであり、このようにプレーする競技者は、警告されなければならない。 3つ目●: 過剰な力を用いるとは、競技者が必要以上の力を用いる、または相手競技者の安全を脅かすことであり、このようにプレーする競技者には、退場が命じられなければならない。	97	●不用意とは、競技者が相手にチャレンジするときに注意もしくは配慮が欠けていると判断される、または慎重さを欠いて行動すること。懲戒の罰則は、必要ない。 ●無謀とは、競技者が相手競技者にとって危険になる、または結果的にそうなることを無視して行動することで、警告されなければならない。 ●過剰な力を用いるとは、競技者が必要以上の力を用いる、または相手競技者の安全を脅かすことで、退場が命じられなければならない。	●英語版の和訳をより適切にすることで、「不用意」「無謀」「過剰な力」について、レベル感の違いを理解しやすい表現に修正した。
97	「1.直接フリーキック」一番下の● ・ハンドの反則をする (自分のペナルティーエリア内でゴールキーパーが触れた場合を除く)	97	・ハンドの反則を行う (自分のペナルティーエリア内でゴールキーパーが手や腕でボールに触れた場合を除く)	●英語版では表現されていないが、「手や腕でボールに」を加筆することでよりわかりやすいものとした。
105	「退場となる反則」 1つ目の●: …阻止する (自分のペナルティーエリア内にいるゴールキーパーを除く)。	105	「退場となる反則」 1つ目の●: …阻止する (自分のペナルティーエリア内でゴールキーパーが手や腕でボールに触れた場合を除く)。	●英語版では表現されていないが、「手や腕でボールに」を加筆することでよりわかりやすいものとした。
174	「無謀な」 競技者による相手競技者に対する危険や結果的に危険になりかねないことを軽視 (無視) した行動 (通常はタックルや挑むこと)	164	相手競技者にとって危険になる、または結果的にそうなることを軽視 (無視) した競技者による行動 (通常は、タックルやチャレンジ)	●P97の「Reckless (無謀な)」の修正に伴い、用語集においてもそれに倣って修正した。